

CSR報告書2016

企業理念

自然と社会と人に深くかかわる企業として、
人々のためにより良い環境を創造する。

環境方針

大成ロテックは、道路建設業を通じて地球環境を美しく保ち、快く整えて次の世代に引き継ぐために、環境保全活動を継続的に改善し、快適環境を創造する。

安全衛生方針

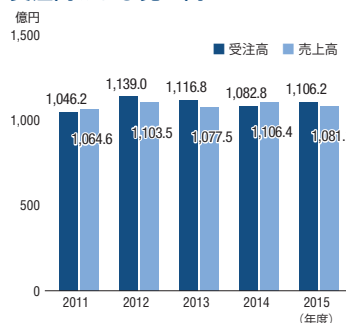
大成ロテックは、安全衛生マネジメントシステムを確実に運用し、事故・災害の撲滅と健康で明るい職場の快適環境を創造する。

品質方針

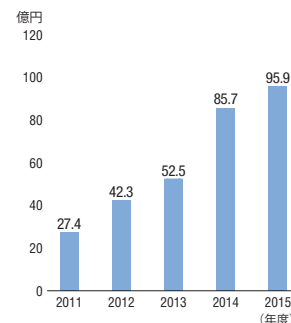
大成ロテックは、社会と顧客から評価され、信頼される快適環境を創造する。

商号	大成ロテック株式会社
本社設立	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー 昭和36年6月15日
資本金	113億5百万円
建設業許可	国土交通大臣許可(特-24)第1964号
建築士事務所登録	一級建築士事務所(東京都知事登録第21111号)
建設コンサルタント登録	国土交通大臣登録 建26第130号
宅地建物取引業者	東京都知事(11)第33255号
従業員数	962名(平成28年3月31日現在)

受注高および売上高



経常利益



トップメッセージ

持続可能な社会づくりに貢献する環境技術

大成ロテックは、「舗装工事・土工工事の設計・施工・管理」「アスファルト合材の製造・販売」「建設資材のリサイクル」を3つの柱とする事業活動を展開しています。

2015年4月には、コンクリート廃材などの産業廃棄物を再生利用し、路盤材を製造する「城南島リサイクルセンター」を開業しました。当センターは、全施設を屋内に設置することで、地域への粉じん・騒音・振動を抑制しています。今後の建設需要の高まりにより、首都圏における廃棄物の増加が見込まれる中、当センターはその問題解決の一端を担っていきます。

当社の環境技術である保水性・遮熱性舗装は、路面温度の上昇を抑え、ヒートアイランド現象の緩和に寄与します。その他にも、路面騒音の抑制や舗装の長寿命化、快適な歩行空間の創造、景観の創生などをもたらす多くの環境技術を追求しています。当社は、こうした環境技術の活用による取り組みを引き続き推進し、地球にやさしく、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

今般、当社は、舗装災害復旧工事に関し入札談合を行ったとして、関東地方整備局より営業停止処分を受けました。また、東京都等発注工事及び合材販売事業について独占禁止法違反の疑いで現在も公正取引委員会の調査を受けております。当社は、これまで独占禁止法の遵守をはじめコンプライアンス体制の構築及び社員への教育・指導を行ってきました。しかし、それらの取組が徹底されていなかったことについて深く反省し、今後より一層のコンプライアンスの徹底を図り、再発防止に努めて参ります。



代表取締役社長
西田 義則

マネジメント報告



企業統治

大成ロテックでは、経営の効率性・透明性・健全性を高めるためにコーポレートガバナンス体制の充実・強化を図り、企業価値を向上させることを目指しています。

取締役会（社外取締役を含む）は、経営上の重要事項の決定と業務執行の監督を行います。監査役は、取締役会などの重要な会議への出席を通じて取締役の職務執行の適正性、健全性について監査を実施しています。また、執行役員制度を導入し業務執行の効率化・迅速化を図っています。

■ コンプライアンスの推進

大成ロテックでは、「大成ロテック企業行動規範」を基本に「建設業法の遵守に関する行動基準」ほか各種諸規定を定め、コンプライアンスを推進しています。法令の遵守のみに終始することなく、社会的要請にも応えるための体制を整えています。

- 社員一人ひとりに対してコンプライアンスの精神を徹底するために、毎年、全国の事業所において全従業員参加によるコンプライアンス研修を開催しています。ここでは、諸規定の解説だけでなく、独占禁止法（入札談合・カルテル）、建設業法、産業廃棄物処理法からハラスメントなどの人権問題に至るまで、多岐にわたり具体的な問題を取り上げ、全社的なコンプライアンスの強化に努めています。
- コンプライアンス教育の一つの手段としてネットワークを利用したeラーニングも実施しています。建設業法・情報セキュリティ・労務安全・環境・ハラスメントなど、毎回テーマを変え、自己点検をしています。
- 営業活動におけるコンプライアンスとして社内規定「独占禁止法遵守のための行動指針」「入札業務の適正確認手続きに関する細則」にのっとり、毎年入札業務の監査を行っています。

■ リスクマネジメント

会社の社会的信用を損なわせる可能性のある事象、会社に人的、物的若しくは経済的損失を発生させる可能性のある事象をリスクと定義し、各本部・支社において抽出されたリスクの中から、特に影響度や発生の可能性・頻度が高いリスクについては「全社重要リスク」として管理・周知を図り、適宜必要に応じて見直しを実施しています。各部門ではそのリスクについて日常的にモニタリングし、リスクコントロールがなされているかをチェックしており、また、監査部はリスクマネジメントの実施状況に関する監査を実施しています。それらを継続的に実施することにより、リスク発生の予防、リスク発生による損失の最小化、再発の防止およびリスク対策の評価と改善を行い、大成建設グループの一員として企業の社会的責任を果たしてまいります。

■ マネジメントシステム

現在、大成ロテックは、3つのマネジメントシステムを社内で運用しています。そのうち、活動内容が社外から見えやすい労働安全衛生マネジメントシステム（SMS）については、COHSMS（コスモス）に基づく自己宣言方式を採用し、管理しています。また、運用実態が社外から見えにくい品質マネジメントシステム（QMS）と環境マネジメントシステム（EMS）については、国際規格のISO9001とISO14001に基づく外部認証登録を行い、第三者機関からその運用状態について認証登録を受けています。

品質マネジメントシステム（QMS）登録の概要

JIS Q9001:2008 (ISO 9001:2008)

認証番号 MSA-QS-22

環境マネジメントシステム（EMS）登録の概要

JIS Q14001:2004 (ISO14001:2004)

認証番号 MSA-ES-312

安全管理体制



安全衛生マネジメントシステム

当社は、「労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針」及び「建設業労働安全衛生マネジメントシステムガイドライン」（コスモスガイドライン）に基づく安全衛生マネジメントシステムを運用し、事業活動に伴う労働災害、公衆災害の防止と安全衛生水準の向上に努めています。

2016年安全目標



2016年度 重点実施事項

- ①支社トップによる「事故・災害撲滅活動」の推進
 - 現場パトロール点検者および統括安全衛生責任者の能力向上教育の実施
 - 法令、規則、社内規定および社会貢献の順守教育の実施
- ②事業所長による統括的な安全衛生環境管理と工事事務所長、作業所長、工場長自らによる安全衛生環境管理の徹底
 - リスクアセスメントを取り入れた現場施工計画・工場操業計画および日常職場活動（教育、作業手順の周知、各種KY活動、巡視等）の活性化
- ③協力会社に対する教育・指導の更なる強化
 - 安全衛生環境協会連合会との連携による組織的安全衛生環境活動の推進と各職長会活動による現場力、工場力、知力の強化
 - リスクアセスメントを取り入れた現場および工場での「作業手順書」、「リスクKY」の充実と「一人KY」の定着
 - 再下請業者までを含めた「送り出し教育」の確実な実施

工事現場での重点実施事項

- リスクアセスメントによる減災・防災
- [重機・車両、土砂崩壊災害の防止]
- [公衆災害の防止]
- [安全衛生環境管理活動の活性化]

2015年の事故・災害発生状況総括

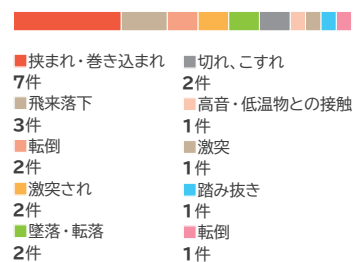
2015年も死亡災害の発生は無く、これにより2012年以降4年連続死亡事故ゼロを達成しました。これは、2002年～2007年の6年連続ゼロであった以来のことです。災害率は1.67でしたが、工場試験、支社事務、工場事務、工場操作、本社研究部門でそれぞれ1件ずつ発生し、職務区分での傾向はありませんでした。

協力会社の労働災害は前年22件から17件と減少しました。合材工場で発生した労働災害は前年と同数の3件でしたが、そのすべてが当社社員の被災でした。

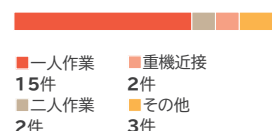
事故の型別労働災害発生状況では、『挟まれ・巻き込まれ』が7件と前年同様に多発しました。合材運搬ダンプトラック荷台の後部ゲートに挟まれるといった「繰り返し災害」が2件発生しました。『飛来落下』は前年ゼロでしたが、2015年は3件と発生件数が増えました。

作業形態別労働災害発生状況では、一人作業による災害が前年同数の15件と高止まりの傾向にあります。「指差呼称」を併用した「一人KY」を定着させ、一人作業での労働災害を減らします。

労働災害 事故の型別 発生件数



労働災害 作業形態別 発生件数



パトロールの実施

当社では以下のようなパトロールを実施し事故災害の撲滅に努めています。

- 本社役員パトロール
- 本社安全環境品質部によるパトロール
- 支社、事業所によるパトロール
- 事業主パトロール



社長パトロール実施状況



工場パトロール実施状況

環境活動報告



環境負荷物質の排出と削減状況

大成ロテックは、道路などの施工や合材製造、営業活動、技術開発・研究活動、オフィス活動その他の日常業務を通じて、以下のような環境負荷物質を排出しています。そして、工事現場から排出されるアスファルト、コンクリートの廃材などを再生する中間処理施設を活用することにより、産業廃棄物最終処分量の削減に貢献しています。

2016年安全目標



対象組織：大成ロテック株式会社
 対象期間：2015年4月1日から2016年3月31日まで
 （一部当該期間以外の内容も掲載しています。）

お問い合わせ先：大成ロテック株式会社 企画情報部
 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
 TEL 03-5925-9435 FAX 03-3362-5804